

# 台風や集中豪雨などの風水害から身を守るために

ページ番号 1001532 【問合わせ】防災安全課 ☎ 84-0626

台風や集中豪雨などの風水害は、年々その被害の規模が拡大していますが、地震と比べると、事前に発生を予測しやすい災害です。ハザードマップを確認のうえ、防災気象情報などに注意し、災害に備えましょう。

## 避難情報(5段階の警戒レベル)

5	 災害発生 又は切迫	さんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b>
～～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～～		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b>
3	 災害の おそれあり	こうらいしやとうひなん <b>高齢者等避難</b>
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

内閣府(防災担当)・消防庁において作成

### 「避難情報」が発令された時の対応

風水害が発生する危険性が高まった際に、市の災害対策本部から**高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保等**の避難情報を発令します。避難情報が発令されたら、ホームページ等で最新の避難所開設情報を確認し、開設されている最寄りの避難所や、安全な知人宅に避難するなど、速やかに適切な行動をとりましょう。市役所は避難所ではありませんのでご注意ください。



避難時の非常持出品の例や情報伝達方法(キキフル、X:旧ツイッター、市公式LINE、河川カメラ等のリンク)

## いざというときの準備

風水害に備え、**マイ・タイムライン**を作成しておきましょう。マイ・タイムラインは、災害から身を守るための「自らの防災行動計画」です。

身の周りの災害危険箇所、避難先、避難経路、避難のタイミングなどをあらかじめ確認・整理して、いざというときに慌てずに避難を行えるようにしましょう。



◀マイ・タイムライン作成例



◀水災害ハザードマップ等の各種マップ



## 「防災気象情報」の収集方法

情報収集には、テレビ、ラジオ、インターネットなど複数の手段を活用してください。市では、市ホームページや防災行政無線(屋外スピーカー)、広報車、X(旧ツイッター)など複数の手段を用いて情報を発信しています。

### 防災行政無線放送(屋外スピーカー)

防災行政無線による放送は、場所によって聞こえづらいことがあります。直前に放送した内容は、聞き直しダイヤル(21-1155)で確認できます。

### テレビ(データ放送)

市における警報・注意報、避難所解説情報、避難情報をデータ放送で見ることができます。

